

統計協会ニュース

<http://www.etisa.or.jp/>

第150号

令和3年10月1日
一般社団法人 経済産業統計協会
電話 03(3561)2974
FAX 03(3561)5212

目次

◎統計ニュース

- ・経済解析室ニュースより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・鉱工業指数等の公表予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

◎協会の動き

- ・月例研究会の開催予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ・経済統計セミナーの開催予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ・受託業務に係る応札状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

◎刊行物案内

- ・一般社団法人経済産業統計協会刊行物一覧(近刊・新刊情報)・・・・・・ 11

統計ニュース

経済解析室ニュースより

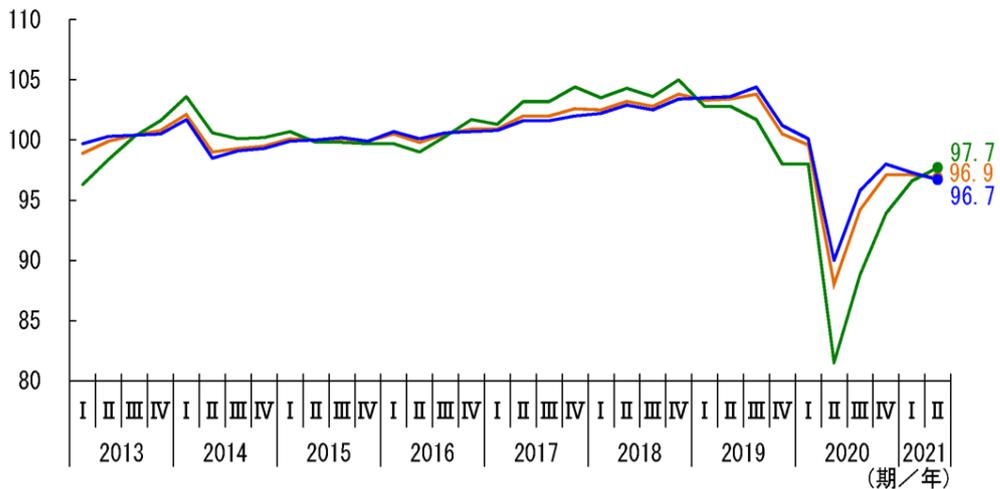
経済産業省調査統計グループ経済解析室で発信をしています「鉱工業指数と第3次産業活動指数からみた2021年4-6月期の産業活動」の一部を抜粋して掲載します。

URL:http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/mailmaga_index.html

(1) 鉱工業生産指数、第3次産業活動指数及び統合指数の動向

- ・2021年4-6月期の鉱工業生産指数は97.7(前期比1.1%)と4期連続の上昇。
- ・第3次産業活動指数は96.7(同-0.6%)と2期連続の低下。
- ・統合指数は96.9(同比-0.2%)と4期ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済) 統合指数 鉱工業生産指数 第3次産業活動指数

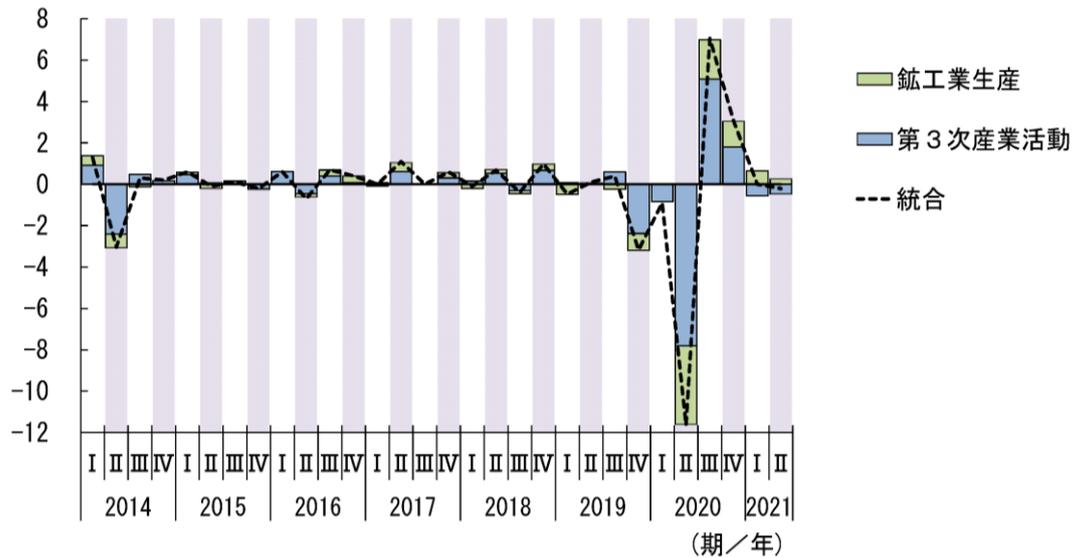


(注) 統合指数については、鉱工業生産指数と第3次産業活動指数を、試算した両者のウェイトを用いて加重平均し算出した試算値(ウェイト 鉱工業：第3次=22.96：77.04)
(資料) 経済産業省「鉱工業指数」、「第3次産業活動指数」より作成

(2) 統合指数前期比 産業活動別の影響度合い

・2021年4-6月期の統合指数は鉱工業生産が上昇したものの、第3次産業活動が低下したため、前期比-0.2%と低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

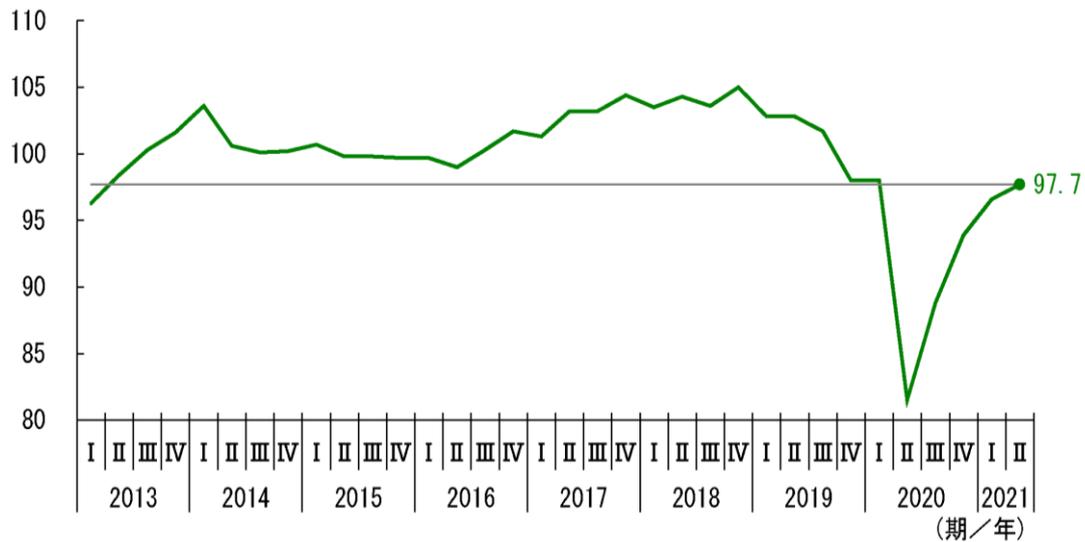


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」、「第3次産業活動指数」より作成

(3) 鉱工業生産指数の動向

・2021年4-6月期の鉱工業生産指数は97.7(前期比1.1%)と4期連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)

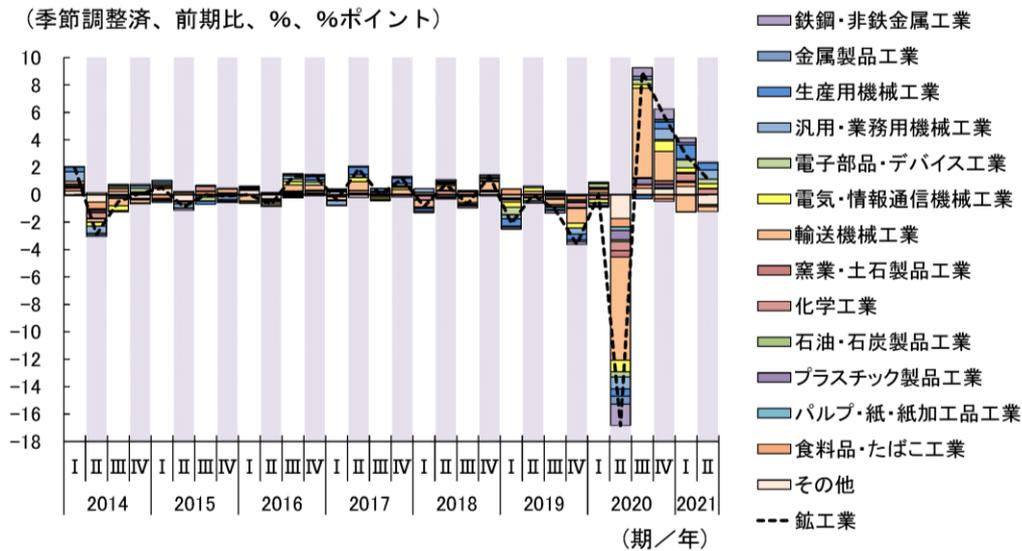


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」より作成

(4) 鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

・2021年4-6月期の生産指数は輸送機械工業などが低下したものの、汎用・業務用機械工業などが上昇したため、前期比1.1%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料) 経済産業省「鉱工業指数」より作成

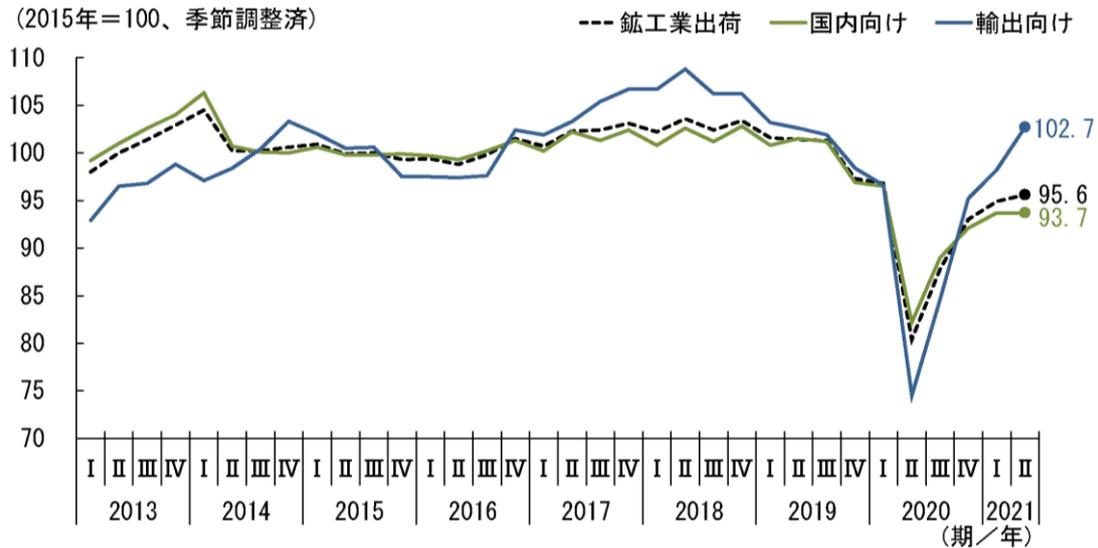
(5) 鉱工業出荷指数の動向

・2021年4-6月期の鉱工業出荷指数は95.6(前期比0.7%)と4期連続の上昇。

・鉱工業出荷(国内向け)は93.7(同0.0%)と横ばい。

・鉱工業出荷(輸出向け)は102.7(同4.6%)と4期連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)

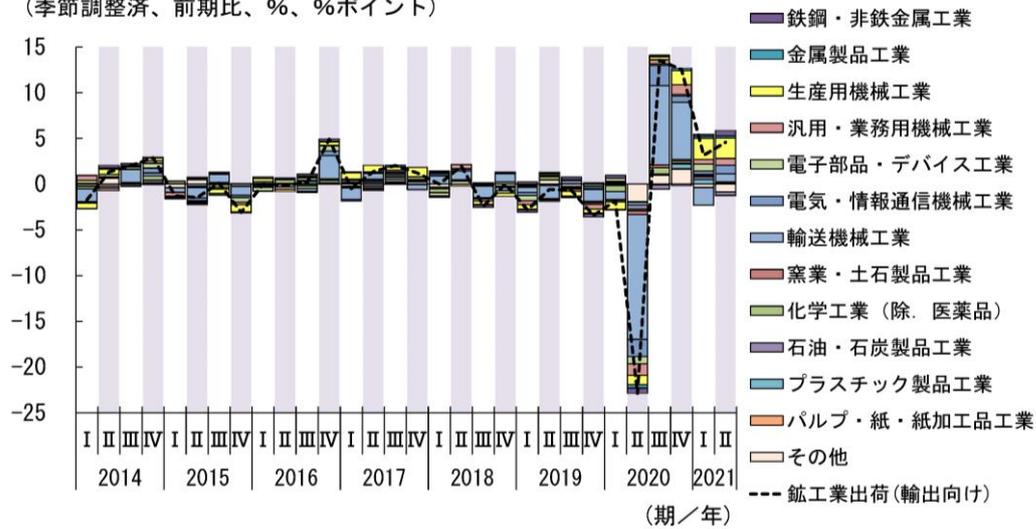


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」、「鉱工業出荷内訳表」より作成

(6) 輸出向け出荷の動向

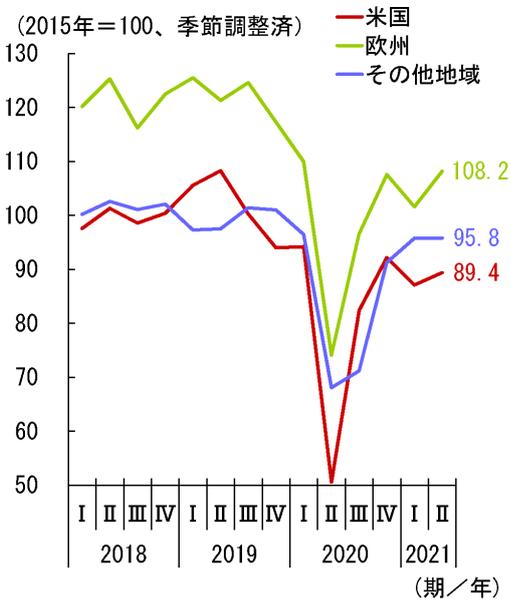
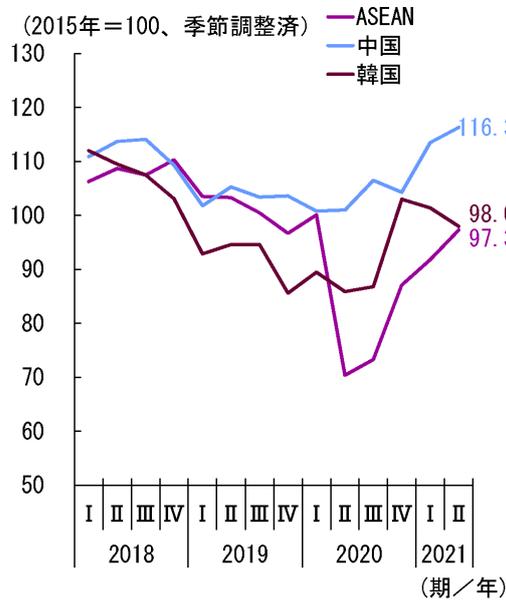
・2021年4-6月期の輸出向け出荷を、業種別にみると、石油・石炭製品工業などが低下したものの、生産用機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料) 経済産業省「鉄工業出荷内訳表」より作成

(7) 輸出向け出荷指数(地域別)

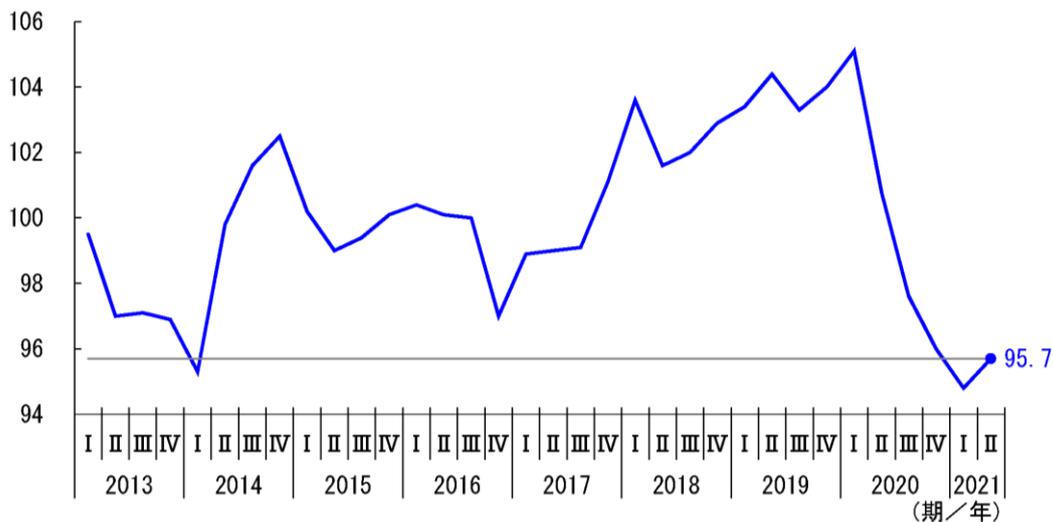


※ASEAN：インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス（全10か国）
(資料) 経済産業省「鉄工業出荷内訳表」より作成

(8) 鉱工業在庫指数の動向

・ 2021年4-6月期の在庫指数は95.7(前期比0.9%)と5期ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

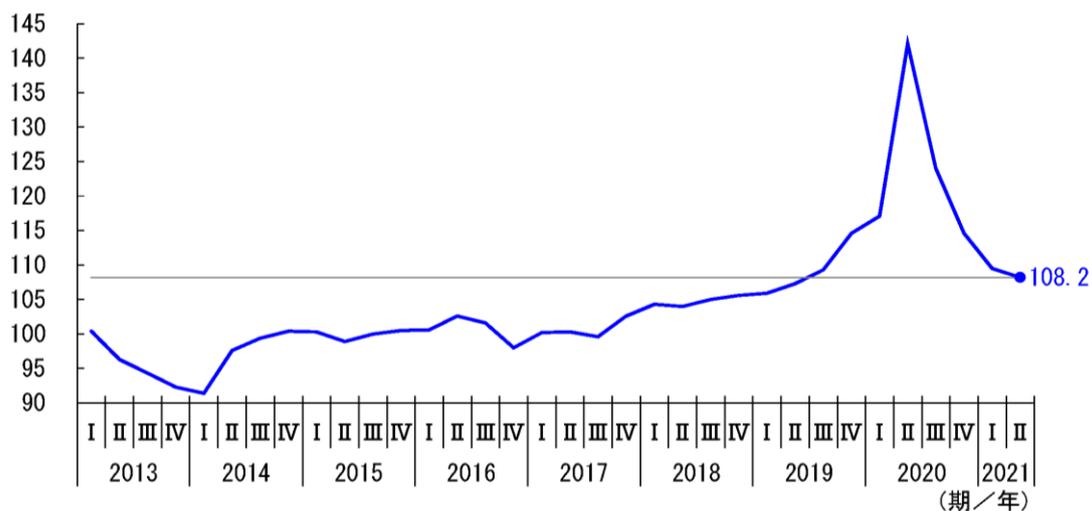


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」より作成

(9) 鉱工業在庫率指数の動向

・ 2021年4-6月期の在庫率指数は108.2(前期比-1.2%)と4期連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

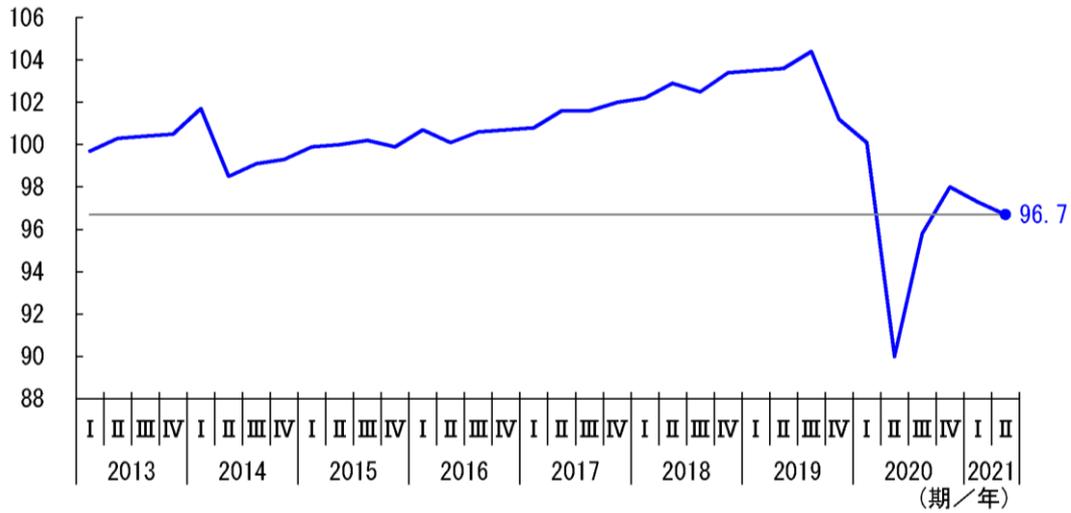


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」より作成

(10) 第3次産業活動指数の動向

・2021年4-6月期の第3次産業活動指数は、96.7(前期比-0.6%)と2期連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

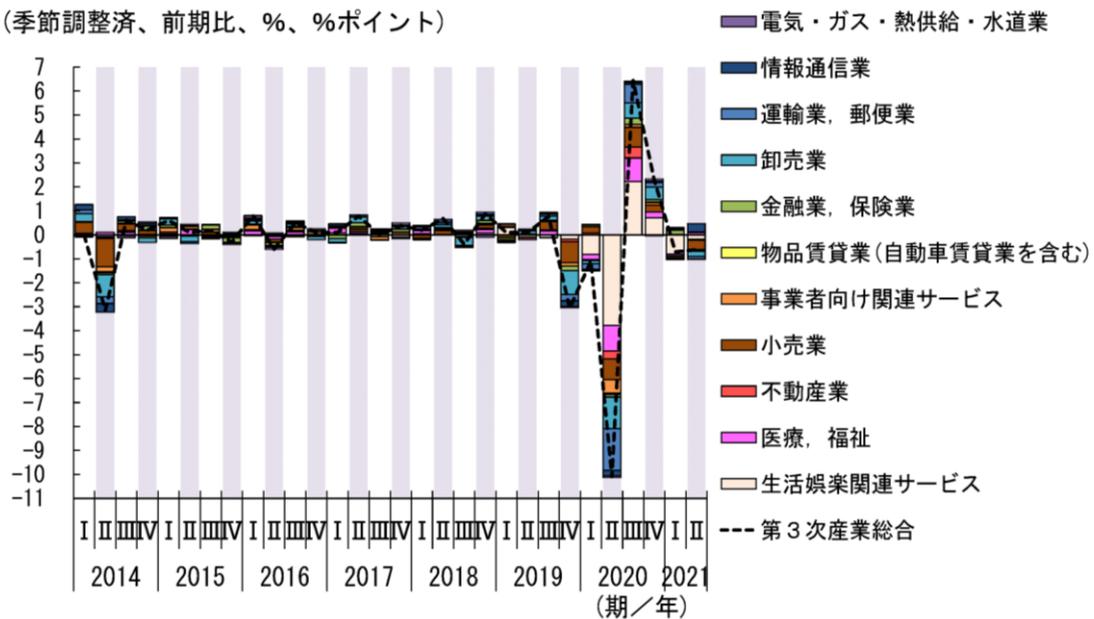


(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成

(11) 第3次産業活動指数前期比 業種別の影響度合い

・2021年4-6月期の第3次産業活動指数は、情報通信業などが上昇したものの、小売業などが低下したため、前期比-0.6%と低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成

スポーツに関する分析記事より

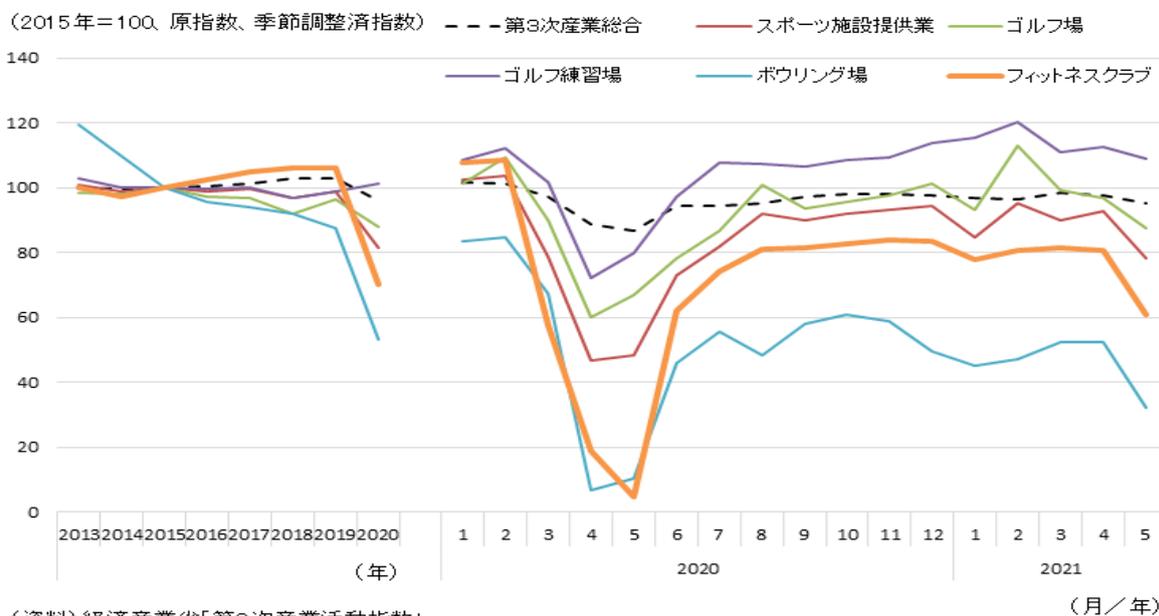
コロナ禍で苦戦するフィットネスクラブ

コロナ禍でも健闘している屋外スポーツクラブとは対照的なフィットネスクラブ
近年、健康志向の高まりや、小規模スポーツジムの進出などにより、成長してきたフィットネスクラブですが、2020年からのコロナ禍によりどのような影響を受けたのでしょうか。

様々なサービス業の活況度を示す第3次産業活動指数でスポーツ施設提供業の内訳(利用者数の変動)を見てみると、フィットネスクラブは2014年以降、上昇傾向にありましたが、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により大きく低下しています。

これを2020年以降、月ごとに見てみると、1回目の緊急事態宣言のあった2020年5月に大きく減少したものの、夏にかけて急速に回復しましたが、コロナ禍前の1月に比べ8割弱、2021年5月には6割程度にとどまっています。

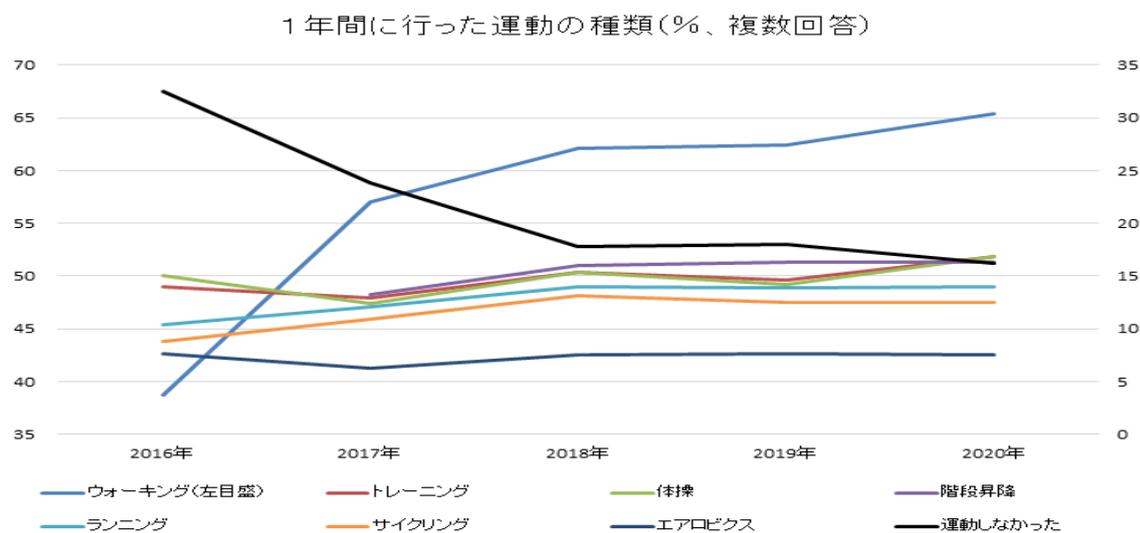
第3次産業活動指数(スポーツ施設提供業)の推移



コロナ禍でより高まる健康志向

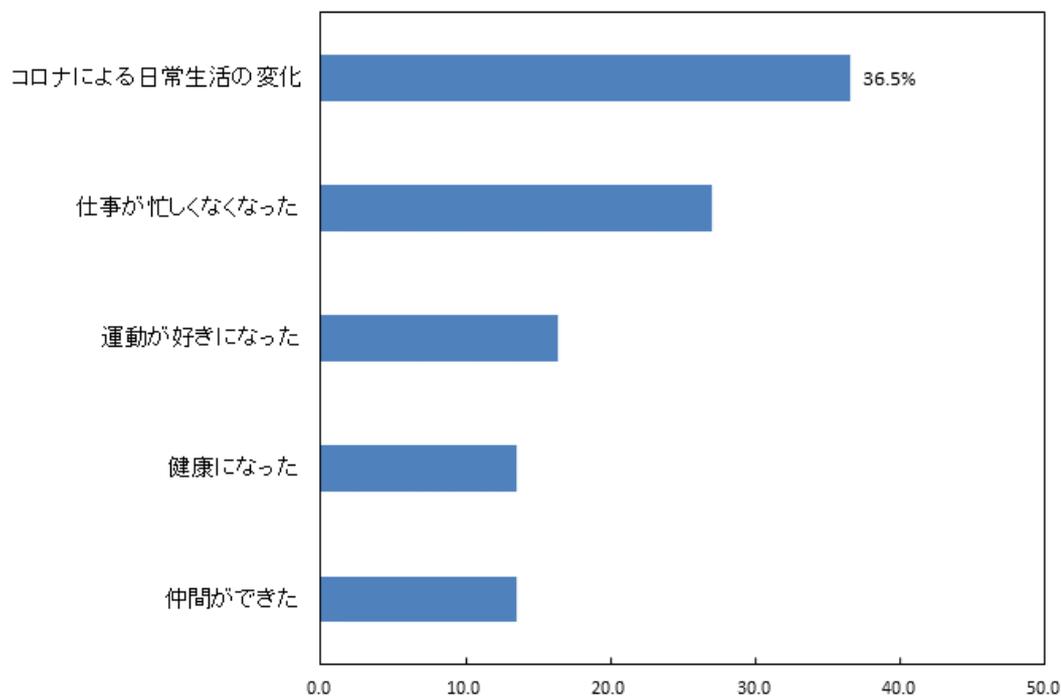
それでは人々の健康志向に陰りが見られているのでしょうか。スポーツ庁が毎年実施している「スポーツの実施状況等に関する世論調査」を見てみると、2020年のコロナ禍でもスポーツの実施状況は増加（運動・スポーツをしなかった人は減少）していることがわかります。また、2020年に運動・スポーツの実施が増えた理由に「コロナによる日常生活の変化」が上がっています。コロナ禍により、屋内施設での運動は控える一方、屋外で手軽に行えるウォーキングは年々増加しています。

リモートワークの増加や外出自粛などにより、思うように体を動かすことができないことから、これまでよりも意識して運動する人が増えているのでしょうか。



(資料)スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

運動の実施が増加した理由(％、複数回答)



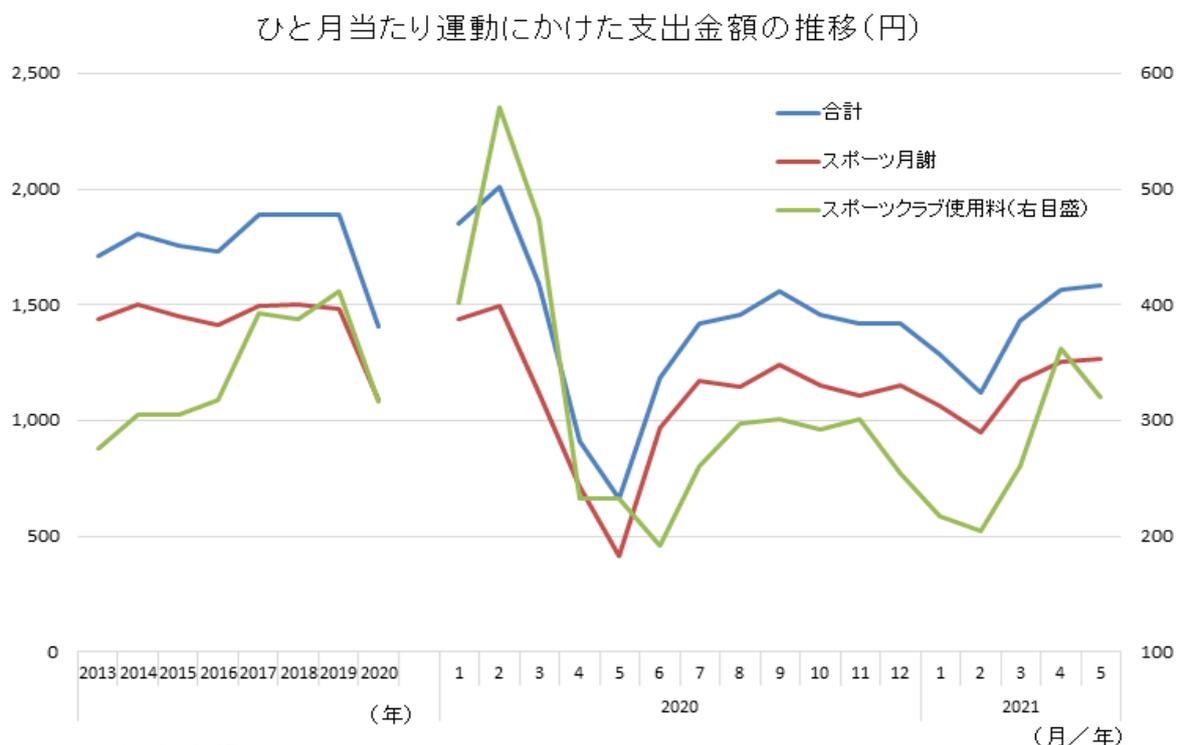
(資料)スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

運動にかける金額に変化は？

次にフィットネスクラブなど、運動・スポーツへの家計支出の状況を見てみると、スポーツクラブ使用料は年々増加していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 2020 年は減少となりました。

2020 年、2021 年の月別の動きを見ると、緊急事態宣言が発令されている時期は大きく減少するなど、コロナの影響は見られますが、2021 年に入ってから回復傾向にあることがわかります。

前項で、実施したスポーツの種目は、手軽に運動できる「ウォーキング」が伸びていましたが、「ウォーキング」の次に、「トレーニング」や「体操」といったフィットネスクラブの利用が想定される種目が上位にきていることや、スポーツ月謝が大きく減少していないことなどから、今後、コロナ禍からの回復によっては、フィットネスクラブを利用する人が増えることも考えられます。



フィットネスクラブは従来の大型施設だけでなく大型商業ビルのテナントの一部などを利用した小規模のものや、マンションの一部屋を利用したパーソナルトレーナーによる個別指導タイプのものなど様々なタイプものが増えてきています。

また、コロナ禍により対面指導を避けたい利用者のために、自宅にいながらリモートで指導するタイプのものなど、利用者が生活に合わせてサービスを選べるようになってきています。

今後も、利用者のニーズに合わせた新たなサービスが登場するのかもしれませんが。

鉱工業指数等の公表予定

鉱工業生産・出荷・在庫指数速報	3年	8月分	9月30日公表
		9月分	10月30日公表予定
製造工業生産予測指数	3年	9月調査	9月30日公表
		10月調査	10月29日公表予定
商業動態統計速報	3年	8月分	9月30日公表
		9月分	10月30日公表予定
経済産業省生産動態統計速報	3年	8月分	9月30日公表
		9月分	10月30日公表予定
第3次産業活動指数	3年	7月分	9月14日公表
		8月分	10月15日公表予定

経済産業省調査統計グループが公表する統計調査の結果及び分析結果は、経済産業省ホームページの「統計」に掲載されていますので、以下のアドレスを検索することによりご覧いただけます。<http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>

協会の動き

○月例研究会の開催予定（正会員のみ）

令和3年11月より、月例研究会を再開予定としています。

	日 時	場 所
令和3年 9月分 11月 2日（火）	12：00～13：20	商工会館6F
10月分 12月 1日（水）	12：00～13：20	商工会館6F

一般財団法人産業人材研修センターと共催、一般財団法人経済産業調査会の後援で定期開催しております統計セミナーにつきましては、詳細が決定次第、お知らせいたします。

○受託業務

経済産業省より「2022年 製造工業生産予測調査」の対象名簿の整備等実施業務を受託いたしました。

刊行物案内

一般社団法人経済産業統計協会刊行物（近刊・新刊情報）

2020年 経済産業省生産動態統計年報（令和3年9月30日発行）

・繊維・生活用品統計編	本体 8,700円＋税
・紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編	本体 7,900円＋税
・資源・窯業・建材統計編	本体 6,400円＋税
・鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計編	本体 9,000円＋税

第54回 外資系企業動向の動向（令和2年度実績） （令和3年9月13日発行）

本体 7,200円＋税

2019年 経済構造実態調査報告書 二次集計結果 【乙調査編】17分冊 （令和3年9月8日発行）

・ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、インターネット附随サービス業	本体 8,200円＋税
・映像情報制作・配給業、音声情報制作業、映像・音声・文字情報制作に 附帯するサービス業	本体 9,000円＋税
・新聞業、出版業	本体 7,800円＋税
・クレジットカード業、割賦金融業	本体 7,000円＋税
・各種物品賃貸業、産業用機械器具賃貸業、事務用機械器具賃貸業	本体 10,000円＋税
・自動車賃貸業、スポーツ・娯楽用品賃貸業、その他の物品賃貸業	本体 9,500円＋税
・デザイン業、機械設計業	本体 6,400円＋税
・広告業	本体 5,100円＋税
・計量証明業	本体 5,600円＋税
・機械修理業、電気機械器具修理業	本体 8,300円＋税
・結婚式場業、葬祭業、冠婚葬祭互助会	本体 8,400円＋税
・映画館	本体 5,500円＋税
・興行場、興行団	本体 5,600円＋税
・ゴルフ場、ゴルフ練習場、ボウリング場、フィットネスクラブ、 その他のスポーツ施設提供業	本体 11,700円＋税
・公園、遊園地・テーマパーク	本体 5,000円＋税
・学習塾	本体 6,300円＋税
・教養・技能教授業	本体 7,300円＋税

2020年 情報通信業基本調査報告書

価 格 未 定

第50回 我が国企業の海外事業活動

価 格 未 定

指数の作成と利用（第8版）

価 格 未 定

正会員・賛助会員様は、特別割引(1割引)で承ります。
刊行物のお買い求めは一般社団法人経済産業統計協会へ

TEL 03(3561)2974 FAX 03(3561)5212

E-mail : kojima@etisa.or.jp

http://www.etisa.or.jp